

現代社会と信教の自由・公開講座参加

深谷忠一

2012年11月30日、新日本宗教団体連合会主催の「第1回現代社会と信教の自由公開講座 憲法施行から65年―激動の現代社会と信教の自由」が東京の國學院大学で開催され、深谷の他に本教から天理やまと文化会議議長の白木原嘉彦氏、委員の上田禮子氏が参加した。

講座では岩下義治委員長のあいさつの後、京都大学大学院教授の大石眞氏が「憲法と信教の自由―憲法施行65年後の課題と展望」と題して基調発題を行った。続いて、玉光神社権宮司で信教委員会副委員長の本山一博氏がコーディネーターを務めてパネルディスカッションが行われ、その中で、石井研士國學院大学教授、平野武龍谷大学名誉教授、そしてフォトジャーナリストの藤田庄市氏がそれぞれに発題した。

コメンテーターには島蘭進東京大学大学院教授が各発題を踏まえて、公共空間での宗教の働きや責任を自覚した信教の自由の発揮について発言した。さらに、政治と宗教の関係やオウム真理教の問題など、信教の自由に関してのさまざまな問題が提起された。

(8頁からの続き)

「市民のみなさんに。

9月30日から10月2日までの3日間、北海道から沖縄まで全国の車いすの仲間と市民が集い、重度障害者の抱える多くの問題について真剣に話し合いました。たとえ寝たきりの仲間でも、ひとりの市民としてゆたかで生きがいのある生活をおくることができる社会こそ“福祉のまち”です。この福祉のまちづくりは、わたしたちに課せられた使命であり、すべての市民にとって早急実現しなければならない課題であることを確認しました。

わたしたちも市民のひとりとして、みなさんの仲間として、みなさんの強い協力と理解のもとに、心ゆたかな“福祉のまち”の実現を果たすよう、努力します。」

(9頁からの続き)

本資料は、北京在住の風車職人である梁俊氏（1933年、北京東部の通州生まれ）の作品である。彼の家は祖父の代から風車制作を生業としてきたが、1970年代以降は異なる仕事で生計を立てていた。長期保存を可能にするため、本来は紙製である風輪の羽根を絹製にするなど多少の細工はあるが、大部分は昔ながらの技法で作られている。

2013年現在、この風車は当館1階中国・台湾コーナーに展示中である。入館者は息を吹きかけて風輪を回し、背後にある太鼓の音を聞いて頂けるので、ぜひお試しください。

(10頁からの続き)

**法王の特別秘書が大司教に**

今年1月6日、主の顕現節の日に、法王は4人の大司教を任命した。そのうちの一人が現法王の個人的秘書としての、ドイツ人ゲオルグ・ゲンスヴァイン (Georg Gaenswein) 神父だ。この日は特別ミサ（顕現節）の行われる日で、ヴァチカンに対する各国大使、外交官が参列している。その日に任命されることは意義も大きいし、喜びも一入だろう。神父はこの10年間法王の「陰」だったが、実質的には法王の右腕でもあり、法王の一番の協力者でもある。この10年間の親身ある挺身の姿が、法王から認められ、表彰されるというかたちになった。この任命によってゲンスヴァイン大司教は、ローマ法王の個人的秘書という立場と共に、法王庁の長官にもなった。元執事の裏切り行為やヴァチカンの銀行の不透明問題とその責任者の更迭問題、司教達の幼児ワイセツ事件等があったが、ゲンスヴァイン大司教はそれらの事件に巻き込まれることもなく、法王に忠誠を誓って来た。大司教のシンボル（紋章）も発表された。紋章の左半分は現法王の紋章を入れ、右半分はエルサレムの星を上置き、その下にドラゴン（忠節のシンボル）を配している。その儀式にはイタリアを代表して首相のモンティ氏が出席した。

**クレジット・カードの使用禁止**

ヴァチカンにも銀行がある。正式には銀行と言わないでIORという。IORは宗教活動協会の頭文字3つをとったものである。独立採算制で、民間人が長官となり、職員も一般人。ヴァチカンは国務長官を中心にして、委員会を構成し、そのIORの動向を見極め、IORの役員任命権、罷免権を有している。ここ数年、IORのエットレ・ゴッティ・テデスキ長官の下、IORにダーティ・マネーが蓄積していた。2010年の時点で2,300万ユーロ（日本円で約25億円）が、ローマ検察庁によって差し押さえられた。ヴァチカンの銀行といえども、イタリア銀行からイタリア市中銀行同様の監視を受けている。IORの取引銀行のナンバーワンはドイツ銀行だ。昨年EUのマネーヴァル (Moneyval) の調査を受け、16人のメンバーのうち9人は問題なしの判定で安堵していたが、やはり不明朗な所が多かったのだ。そのために、イタリア銀行はヴァチカン内部での取引は全て現金で行うこととし、クレジット・カードでの支払いを禁止した。これはヴァチカン内にあるスーパーマーケットでの支払い、ヴァチカン博物館の入場券の購入も一切現金でなければならないと規定した。